



稲穂通信別冊

好き勝手語録!!

心と心の交差点

〒594-1117 和泉市鍛冶屋町344-2

tel.0725-55-3799 fax.0725-55-4288

Mail:info@morihisayuki.com

「好き勝手語録」発行責任者 森ひさゆき

森 ひさゆき

検索

稲穂通信別冊

好き勝手語録!!

心と心の交差点



人生は一冊の本をつくる作業である。

破り捨てたいページもあるけれど、

それもこれも同じ1ページである。



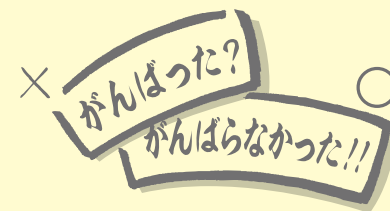
No.01
Mori Hisayuki



自分を知るということは、

どれだけがんばったかということより、

どれだけがんばらなかったかを知ることである。



No.03
Mori Hisayuki

人ができることは、

他の命をいただいて生きている以上、

できるだけ小食でいることぐらいである。



No.02
Mori Hisayuki

自分の範ちゅうこれほど

あてにならないものはない。



No.04
Mori Hisayuki



質問に答弁交えた子守唄。

No.05
Mori Hisayuki



だれが仕切っていてもいいじゃないか、
成ることが成るならば、
目的達成が一番だから。

No.07
Mori Hisayuki



挨拶は終わったあとで上手くなる。

No.06
Mori Hisayuki



反対は反対でいいとおもう。
立場や考えがあつてのことだろう。
かといって敵対視する必要はない。
そんな相手と手を組むことだっていくらでもある。



No.08
Mori Hisayuki



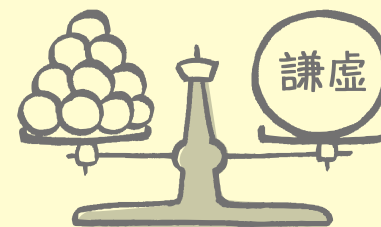
持ち上げて器ながめる作法無し。



No.09
Mori Hisayuki



多くより謙虚の重み一つだけ。



No.11
Mori Hisayuki

したためた想いを云えずしたためる。



No.10
Mori Hisayuki

喋らない電信柱に頭下げ。



No.12
Mori Hisayuki



言い訳にあわてるおもい悟られる。



No. 13
Mori Hisayuki



重箱はつつかれまいと隅かくす。



No. 15
Mori Hisayuki

話より「あの一」の回数数えてる。



No. 14
Mori Hisayuki

秘密だよあなただけだとまた話す。



No. 16
Mori Hisayuki



青二才いくつになっても数えてる。



No. 17
Mori Hisayuki



平等のなかにも不平等は存在する。

まして不平等のなかにも平等は存在する。



No. 19
Mori Hisayuki

風に任せる、その風も感じないなら、

風にも乗れまい。



No. 18
Mori Hisayuki

勝ちにも勝ち方がある。

勝ったとき、負けた相手の存在が

自分の勝ちの存在につながることを重要になる。

負けにも負け方がある。

負けたとき、自分の存在が勝ちにつながったことを

認められたとき負けを認めるポイントになる。

—あなたがいてこそ私が勝てたのです—

No. 20
Mori Hisayuki



目の前の大きさの違いも、
遠く離れるとその差が大した問題でなくなる。



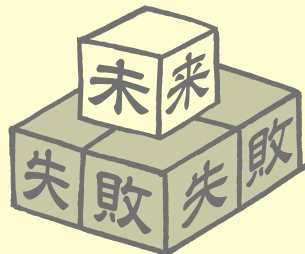
No.21
Mori Hisayuki

人の上に立つということは、
立った分だけ人を自分の上に乗せることになる。
だから器が必要になる。



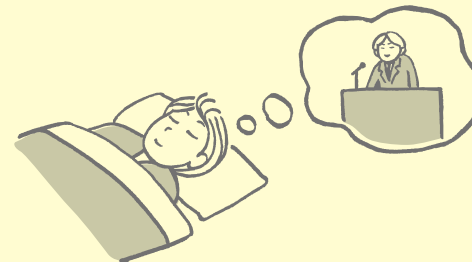
No.23
Mori Hisayuki

失敗は過去を表現することではなく、
未来を導くための表現でなければならない。



No.22
Mori Hisayuki

ゆうべ見た夢総理大臣。
夢は大きい方がいい。
そんなことも最近はいわれなくなった。



No.24
Mori Hisayuki



提案はあなたがすればいいのか。



No. 25
Mori Hisayuki



言わずともわかる質問花盛り。



No. 27
Mori Hisayuki

質問の眠気をさそうリズムかな。



No. 26
Mori Hisayuki

あなたにはわからないよと負け惜しみ。



No. 28
Mori Hisayuki



信じない相手をひとに信じれど。



No. 29
Mori Hisayuki



会ったことのない人でも、その生き様を知ったとき、
身震いするほど共感でき、自分の人生に
大きく影響を与えられる。そんなことがたまにある。
出会った人の中にも、この場合も驚かされるほど、
生き様や考え方に引き付けられ、おのずと師匠と
していることがある。ただし言葉にできず、
心の師匠としたためている。

No. 31
Mori Hisayuki

自分のプライドほど自分を傷つけるものはない。



No. 30
Mori Hisayuki

裏切りはある。

生き死にを共にする以外は。

しかしそのことを裏切りとは言わない。



No. 32
Mori Hisayuki



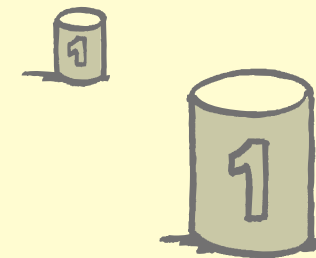
てがらは自分のてがらにしないひとから
言われたいものである。



No.33
Mori Hisayuki



同じもの遠い近いとみてるだけ。

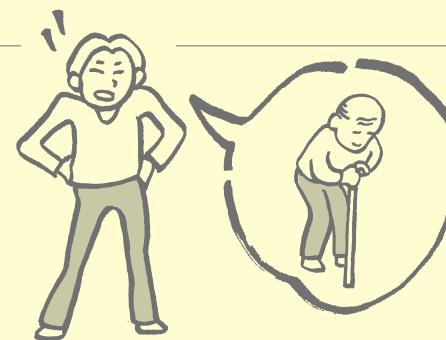


No.35
Mori Hisayuki

一生懸命走った。案の定走りが止まった。
体裁をかまうこともできなくなった。
不義理もせざるを得なくなった。
走りが完全に止まってしまった。
座り込んでしまった。頭を抱え込んでしまった。
もう走る道が無くなった。すると楽になった。
また走り出した。ゆっくりと走り出した。

No.34
Mori Hisayuki

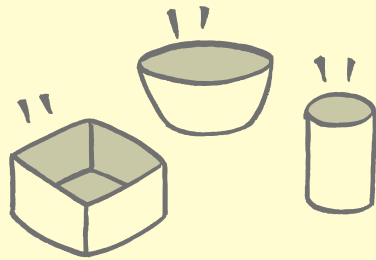
豪語するいつまでも若いはずがない。



No.36
Mori Hisayuki



なにしてるあれもこれもは中味なし。



No.37
Mori Hisayuki



見えないと損をするよと目をあける。



No.39
Mori Hisayuki

すみませんあやまりながら勝つ言葉。



No.38
Mori Hisayuki

教えてよとっておきのひとことを。



No.40
Mori Hisayuki



卵が先か鶏が先か、
言えることはお互いがあるの論議である。



No. 41
Mori Hisayuki

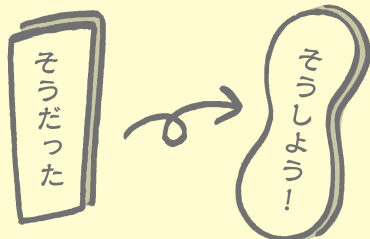


人生がずうっとはうまくいかないとすれば、
うまくいかないことがあっても落胆することはない。
それをあたりまえのこととおもう気持ちから
スタートすればいい。



No. 43
Mori Hisayuki

最悪のシナリオを
最善のシナリオにかえるのは簡単、
そうだったをそうしようにかえるだけである。



No. 42
Mori Hisayuki

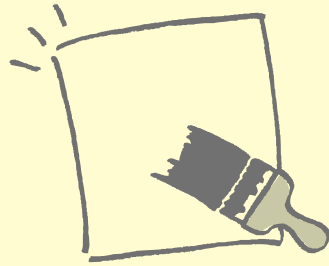
大きな困難に出くわしたとき、
それ以上の大声で笑ってみる。
すると克服できるような気持ちになる。



No. 44
Mori Hisayuki



色つけておもわずおもう真白かな。



No. 45
Mori Hisayuki



目にいいと遠くに緑 1.5。



No. 47
Mori Hisayuki

おもいだす大きな栗の木の下で。



No. 46
Mori Hisayuki

すいませんいいお肉よりいい野菜。



No. 48
Mori Hisayuki



たくさんの言葉はいらないあなただけ。



No. 49
Mori Hisayuki



不自然と集めた枯葉また散らす。



No. 51
Mori Hisayuki

青い空真っ赤な太陽白い雲。



No. 50
Mori Hisayuki

愛してるあなたからは愛されたい。



No. 52
Mori Hisayuki



さようならまた会いたいねこんにちは。



No. 53
Mori Hisayuki



帰らない猫を探しに嫁いずこ。



No. 55
Mori Hisayuki

満面の笑みを浮かべて丸かじり。



No. 54
Mori Hisayuki

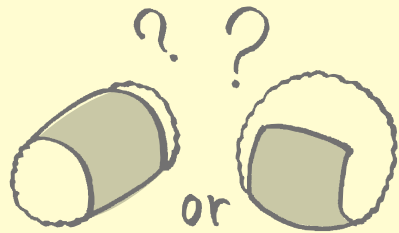
ひらひらと出会い重ねる桜結^{はな}び。



No. 56
Mori Hisayuki



まんまと俵おむすび決めかねる。



No. 57
Mori Hisayuki



雨足に追い越されそう分かれ道。



No. 59
Mori Hisayuki

雪山に残す足跡追いかけて。



No. 58
Mori Hisayuki

風音にかき消されてる愛してる。



No. 60
Mori Hisayuki



道端の雑草花に立ち止まり。

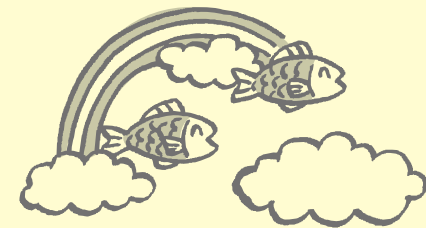


No. 61
Mori Hisayuki



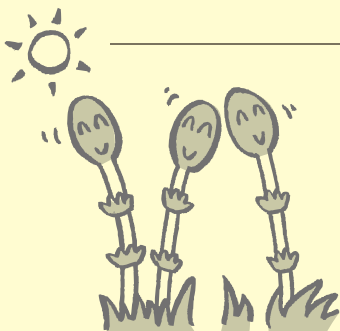
昔、海と空が続いていたころ

魚が空を飛んでいた。



No. 63
Mori Hisayuki

にこにこぼかぼか日和つくしんぼ。



No. 62
Mori Hisayuki

小心者切れたら怖いと口にする。



No. 64
Mori Hisayuki



落胆に落とした肩を持ち上げて。



No. 65
Mori Hisayuki



すいませんしたからぐっとにらみつけ。



No. 67
Mori Hisayuki

尻に敷かれるとは

下で支えるというふうに考えると

持ちつ持たれつ最高の格好である。



No. 66
Mori Hisayuki

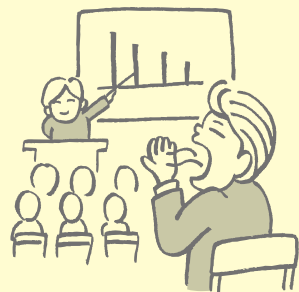
論破して成らないことも知っておく。



No. 68
Mori Hisayuki



講演も統計話は聞きたくない。



No. 69
Mori Hisayuki



受け答えはじまりことばそうですね。



No. 71
Mori Hisayuki

親しみもおまえといえど角が立つ。



No. 70
Mori Hisayuki

手を握り、命のともしび消えるはずがない。



No. 72
Mori Hisayuki



もう一回ねだる回数ふえていく。



No.73
Mori Hisayuki



走り出す列車の窓にさようなら。



No.75
Mori Hisayuki

走り出す列車の窓に愛してる。



No.74
Mori Hisayuki

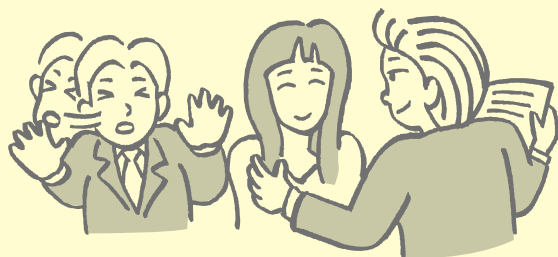
落ち着いて過ぎる感情道外す。



No.76
Mori Hisayuki



あわてるなそれなりになれば誘われる。



No.77
Mori Hisayuki



現状に合わない者も否定してはならない、
自分におきかえてもわかるように
時期がくれば現状に合うようになる。



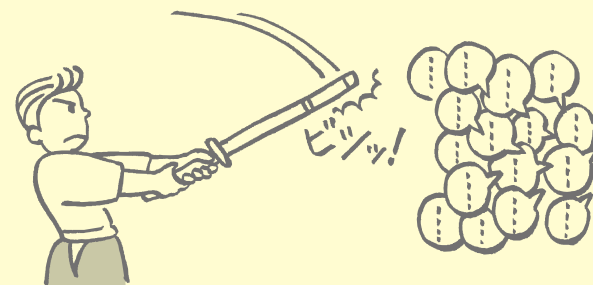
No.79
Mori Hisayuki

聞こえましたか聞こえないフリはお手の物。



No.78
Mori Hisayuki

百のことばより一振り竹刀の音を聞け。



No.80
Mori Hisayuki



本心はちがうところに存在す。



No.81
Mori Hisayuki



だまされたって責任は自分にあるさ。



No.83
Mori Hisayuki

そんな立派に生きてはこれなかったし
これからもそういうものだとおもう。



No.82
Mori Hisayuki

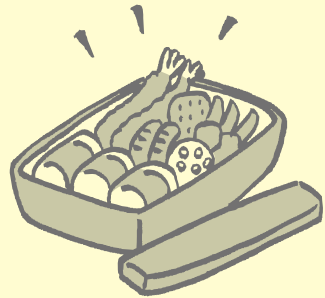
格別のなにをしたのか格別の。



No.84
Mori Hisayuki



なにがうれしいかって、
 作ってくれたお弁当を食べれる、
 これほどうれしいことはない。



No.85
 Mori Hisayuki

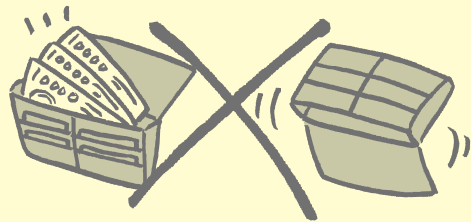


一旦手続きをおこたるとそのものを
 続けることよりも重荷になる。



No.87
 Mori Hisayuki

お金があるかないかにかかわらず
 生きていけならなんとかなりそうである。
 その価値観をベースにしているようにしている。



No.86
 Mori Hisayuki

ほんとうは生きるための道ではなく
 死ぬための道かもしれない。



No.88
 Mori Hisayuki



自分のために生きる

だから人のために生きようとする。



No. 89
Mori Hisayuki

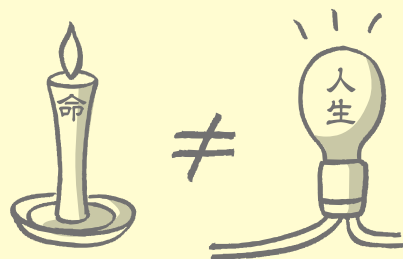


人に怒るほど自分は偉くない。



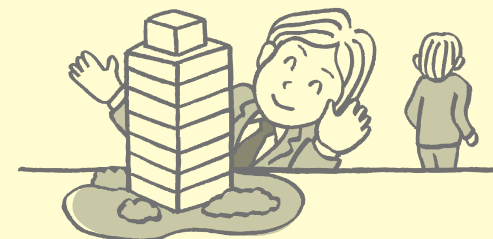
No. 91
Mori Hisayuki

人生を命ある期間と考えず。



No. 90
Mori Hisayuki

自分の作ったものは自己満足に過ぎない、
他の人がそれを確認することはほとんどない。



No. 92
Mori Hisayuki



心がおだやかにならない場所からは
おもいきって離れたほうがいい。



No. 93
Mori Hisayuki

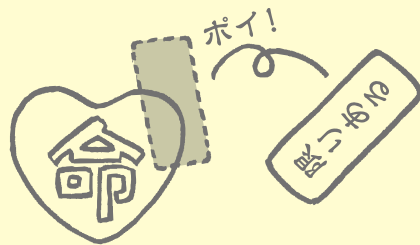


信じれぬひとが悪いと話すひと。



No. 95
Mori Hisayuki

限りある命だから限りない命を求めてしまう、
ときには限りあるという言葉
無くしてしまうことも必要かとおもう。



No. 94
Mori Hisayuki

価値観は自分主体で存在する。



No. 96
Mori Hisayuki



その答え本当は違うとおもってる。



No. 97
Mori Hisayuki



すべてが自分経由じゃない他者経由もある。

そのことに嫉妬することはない。



No. 99
Mori Hisayuki

人は怠慢になるだから戒められる。



No. 98
Mori Hisayuki

森ひさゆきの見たまま感じたまま

議員生活で見たまま感じたまま、

自分のこと他人(ひと)のこと、

文脈形式もままならない状態での列記、

できる限り生きる途中を表現したい。

2014年4月27日

Hisayuki Mori

